

機械器具 22 検眼用器具
一般医療機器 レフラクト・ケラトメータ (36387030)
「角膜形状/屈折力解析装置 OPD-Scan III」の付属品
IOL-Station

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

IOL-Station はニデック 角膜形状/屈折力解析装置 OPD-Scan III の測定データを取り込み、IOL パワーの計算、推奨非球面 IOL の選択、IOL を挿入した場合の見え方シミュレーション、カタラクトサマリーの印刷などを行うソフトウェアです。白内障手術に必要なデータを求めたり、患者への説明を助けたりするツールとして用います。

2. 構成

インストール用 USB フラッシュメモリ、取扱説明書

【使用目的又は効果】

使用目的

角膜トポグラフィ機能をもつ、眼の屈折異常の測定を行う装置

* 【使用方法等】

本プログラムを使用するにあたり、本プログラムに付属の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で使用すること。

1. 環境条件

装置本体の仕様に準ずる。

2. 設置方法

下記の仕様を満たす汎用情報端末機器に (株) ニデックが指定した方法でインストールして使用する。

汎用情報端末機器の性能

以下のスペックを備えた IBM PC/AT 互換機

①使用する OS のシステム要件を満たすこと

* ②グラフィック: 1024×768 ピクセル以上 32bit true color 以上

* ③ストレージ空き容量: 64GB 以上

④ USB ポート 1 ポート以上

⑤ LAN ポート 1 ポート以上

⑥ RS-232C ポート 1 ポート以上

⑦モニター: ②のグラフィックモードが表示できるもの

* ⑧ OS: Windows 10 Pro 32bit/64bit 日本語/ 英語

Windows 11 Pro 日本語/ 英語

3. 基本的な操作

- (1) IOL-Station のメインメニュー画面で、[Navigator mode] ボタンをクリックします。
- (2) [Select Patient] ボタンをクリックします。
- (3) 患者選択画面から計算に使用する患者の行をクリックして選択します。
- (4) 検査データリストから計算に使用する検査データの行をクリックして選択します。
- (5) [選択] ボタンをクリックします。
- (6) Biometry & Calculator 画面で眼軸長、前房深度、水晶体厚を入力します。

- (7) IOL 計算式を選択します。
- (8) 術者欄で、術者を選択します。
- (9) K 値欄で、K 値 (角膜曲率) の種類を選択します。
- (10) 目標屈折度欄で、術後希望する矯正用レンズの屈折力 [D] を選択します。
- (11) 術者ビュー欄で、術者が患者のどちらの方向から手術をするのかを選択します。
- (12) 選択した IOL に対して複数の計算式での結果を一覧で表示して比較したり、その平均を求めたりします。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・ IOL-Station で求めたデータは、必ず医師が確認してから用いること。
- ・ データの管理は、お客様の責任において行うこと。
[弊社では、データの損失に関する責任を負うことはできません。]
- ・ データは、必ず外部メディア (DVD-RAM 等) にバックアップをとること。
[コンピュータのハードディスクが万一壊れた場合、そこに保存されていたデータは使用できなくなります。また、CD-R、CD-RW、DVD-R の様な書き込みにライティングソフトを必要とするメディアは、バックアップに適しません。]
- ・ 画面 DPI 設定は“ 通常のサイズ(96DPI) ” で使用すること。
[他の設定にすると、ボタンの位置がずれる、画面の端が欠ける等、IOL-Station の画面が正しく表示されない。]
- ・ 万一、本ソフトウェアが異常終了した場合、正常でないデータが残っている可能性がありますので、再度同じ操作をやり直すこと。

【使用上の注意】

使用する前に装置に付属されている取扱説明書、または電子化された添付文書を参照し、安全に関する注意事項および使用方法について十分に理解すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

装置本体の仕様に準ずる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社 ニデック

電話番号 : 0533-67-6151(代)

取扱説明書を必ずご参照ください。

「角膜形状/屈折力解析装置 OPD-Scan III」の付属品
IOL Station 電子添文
32186-P9A1-A1